

している。半期の履修で2単位の講座が開講され、3年生は必修科目（前期または後期に履修し2単位）となっている（1年生と2年生は選択科目であるが、履修者はあまり多くない）

- 「キャリア教育」の成果を活用し、学生に定着させるために、教学組織とキャリア・センターの連携・調整がなされており、授業の一部は、キャリア・センターの職員やスタッフが担当している

(4) キャリア・センターの状況

- 就職支援センターを改組・発展させたキャリア・センターが、10年前に開設され、センター長の教員1名と常勤職員4名（課長1名と一般職員3名）、非常勤のキャリア・コンサルタント4名（男性2名、女性2名）で対応している
- キャリア・センターのスタッフのうち、常勤職員1名（一般職員）と非常勤職員4名（全員）が、キャリア・コンサルタントの資格を有している
- 正課の授業としての「キャリア教育」以外にも、キャリア・センター独自の講座として、3年生と4年生を対象とした「就職対策」講座が幅広く実施されている。また、公務員試験対策講座や各種資格取得対策講座も、学内にあるエクステンションセンターが幅広く実施している
- 「キャリア教育」の実施に関するキャリア・センタースタッフの問題意識は、①「キャリア教育」の意義と重要性が大学教員全体に共有されておらず、一部の熱心な教員だけで取組みが行われていること、②教学組織とキャリア・センターとの連携・調整をより強化し、「キャリア教育」の効果をより高めること、③大学経営サイドや教学組織に対して、「キャリア形成支援」や「キャリア教育」におけるキャリア・コンサルタントの機能と役割を伝えること、などである



	好 影 響
内 部 環 境	Strength (強み)
外 部 環 境	Opportunity (機会)

SWOT分析 テーマ：

分析者：_____

悪 影 響

Weakness (弱み)

Threat (脅威)

キャリア教育を実践するための戦略の立案

環境分析（SWOT 分析）の内容を踏まえて、あなたがチェンジエージェント

教務部門（教員など）に対して

その方策を策定する理由は？
（環境分析との適合性は？）

学生に対して

その方策を策定する理由は？
（環境分析との適合性は？）

作成日： 年 月 日 作成者： _____

(変革の推進者)として、提供出来そうなことや提案できることを記して下さい

キャリアセンター（職員、スタッフなど）に対して

その方策を策定する理由は？
(環境分析との適合性は？)

経営組織（理事）、OB や OG、地域などに対して

その方策を策定する理由は？
(環境分析との適合性は？)

「大学等におけるキャリア教育実践講習」準備委員会

座長：本間啓二（日本体育大学体育学部教授）

委員：川崎友嗣（関西大学社会学部教授）

木村 周（東京成徳大学大学院客員教授、キャリア・コンサルティング協議会顧問）

長尾繁樹（成城大学事務局就業力育成支援室）

文川 実（1級キャリア・コンサルティング技能士）

三川俊樹（追手門学院大学心理学部教授）

事務局

厚生労働省職業能力開発局育成支援課キャリア形成支援室

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会
